

公益財団法人宮崎文化振興協会

# 令和6年度事業報告書 概要書



1	事務局経営戦略課	・ ・ ・	2
2	宮崎科学技術館	・ ・ ・	3
3	宮崎市歴史資料館	・ ・ ・	5
	生目の杜遊古館		
	宮崎市佐土原歴史資料館		
	宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館		
4	大淀川学習館	・ ・ ・	7
5	宮崎市民プラザ	・ ・ ・	9



# 1 事務局経営戦略課

## (1)新規事業

事業名 実施時期	内容	写真
経営推進会議  6月27日(木) 9月26日(木) 11月28日(木)	物価高騰など厳しい経営環境や時代の変化に対応し、協会の定款上の目的を実現するため、各館の「魅力向上」と「収益向上」について情報共有と意見交換を行い、業務改善、収益増加、職員の育成とモチベーション向上を目指した。 ・会議実施回数 3回 ・職員参加者数 延べ38人	

## (2)改革事業等

事業名 実施時期	内容	写真
研修事業 (内部研修)  通年	職員の資質向上のため、年間研修計画に基づき、研修を実施した。 令和6年度は、従来の研修に加え、新たに外国人入館者への接客能力向上のための「外国人対応研修」と、来館者に対する止血法や熱中症への応急処置習得のための「応急手当研修」を実施した。  ・研修実施回数 11回 ・職員参加者数 延べ178人	
学術・科学技術・文化・芸術振興のための研究事業  通年	学術及び科学技術、文化等の普及・啓発・振興を図るとともに、職員の職務能力の向上のため、指定管理する施設の発展や業務達成に貢献できると認められる研究を実施し、その費用の一部又は全部を補助した。  ・研究本数 6本 ・研究者数 延べ10人	<p>課題解決に向けた簡易実践</p>  <p>(1) 施設面におけるインクルーシブデザイン (車いす体験)</p> <p>最優秀賞「インクルーシブデザインに関する調査・研究」 宮崎科学技術館 安達 大輔</p> <p>報告書掲載場所:協会HP <a href="https://miyabunkyo.miyabunkyo.com/topics/">https://miyabunkyo.miyabunkyo.com/topics/</a></p>

## 2 宮崎科学技術館

### (1)新規事業

事業名 実施時期	内容	写真
<p>企画展 「～光と鏡であそぼう～万華鏡展」</p> <p>7月13日(土)～ 9月1日(日)</p>	<p>夏休み期間中の目玉として「万華鏡」をテーマとした企画展を開催した。鏡や光などの“科学的視点”と美しい模様の“芸術的視点”の2面で構成された企画展を通じて、幅広い年齢層が楽しみながら体験し、学ぶ機会とした。</p> <p>また、期間中に工作体験日を設け、万華鏡の工作を通してものづくりの楽しさも感じてもらえるよう「万華鏡工作教室」も実施した。</p> <p>・参加者数 6,724名</p>	 
<p>星景写真展</p> <p>8月31日(土)～ 9月22日(日)</p>	<p>近年、写真(カメラ)に関心のある方が増えている。SNS等の影響もあり、特に若年層に多い印象である。美しい星景を展示することで、これまでにない新たな客層を取得できるきっかけを創出し、宇宙や天文分野に興味・関心をもってもらおう機会とした。</p> <p>・出展写真 43点</p>	
<p>スターフェスティバル 2024 「GO! GO! ロケット展」</p> <p>9月28日(土)～ 10月27日(日)</p>	<p>市民への天文・宇宙分野の普及・啓発のため、「ロケット」をテーマにその魅力を紹介するパネル展示やサイエンスショー、工作教室を1階展示室内などで行った。</p> <p>・参加者数 10,627名</p>	
<p>土星食観察会</p> <p>12月8日(日)</p>	<p>市民への天文・宇宙分野の普及・啓発を目的に、宮崎科学技術館3階テラスで、土星が月に隠される「土星食」を望遠鏡で観察した。</p> <p>・参加者数 28名</p>	 

(2)改革事業等

事業名 実施時期	内容	写真
企画展 「～光と鏡であ そぼう～万華鏡 展」  7月13日(土)～ 9月 1日(日)	新規事業の企画展としては、 初めて <u>入場料 100 円</u> の徴収を 行った。日本の伝統的なおもち やである万華鏡の鏡や光などの “科学的視点”と美しい模様の “芸術的視点”の2面で構成した 結果、老若男女問わず、多くの 集客に繋がり、事業収入に大い に反映することができた。 ・参加者数 6,724 名 ・事業収入 672,400 円 (※ただし、3 歳以下は、無料) 万華鏡工作教室は、8 月 3 日 (土)・12日(月・振替休日)の 2 日間で、1 人 500 円の徴収を 行った。 ・参加者数 144名 ・事業収入 72,000 円	

### 3 宮崎市歴史資料館

#### (1)新規事業

事業名 実施時期	内容	写真
<p>【生目の杜遊古館】 開館 15 周年記念事業</p> <p>・記念講演会 8月 3日(土) 10月19日(土)</p> <p>・リレー講座 6月 15日(土)ほか</p>	<p>生目の杜遊古館の開館15周年を記念し、著名な講師を県外から招いての講演会(2回)や市制100周年に因んでの宮崎市史編さん委員によるリレー講座(5回)を開催した。</p> <p>・記念講演会受講者 221人 ・リレー講座受講者数 232人</p>	
<p>企画展「市制100周年記念 宮崎市のあゆみ」</p> <p>10月19日(土)～ 12月8日(日)</p>	<p>市制100周年を迎えた宮崎市のあゆみについて「町村制」施行前後から、明治の大合併、市制開始、昭和・平成の大合併に至るまでの年表やトピックごとの資料を展示し、解説した。</p> <p>・入場者数 5,812人</p>	
<p>【佐土原歴史資料館】 企画展「佐土原人形が魅せる物語」</p> <p>2月1日(土)～ 3月2日(日)</p>	<p>佐土原藩から伝わる伝統的な土人形である佐土原人形について歌舞伎人形や風俗人形を展示し、まつわる物語について紹介した。</p> <p>・入場者数 1,256人</p>	

<p>【天ヶ城歴史民俗資料館】 企画展「江戸時代のたかおか」</p> <p>3月15日(土)～ 4月14日(月)</p>	<p>藩政期、薩摩藩直轄領高岡郷・穆佐郷であった高岡の歴史や民俗について『黒江家文書』などの古文書や絵巻といった史資料を展示・解説し、高岡の歴史に親しむ機会を提供した。</p> <p>・入場者数 4,453人 ただし、令和6年度入場者数</p>	
--	--	--

(2)改革事業等

事業名 実施時期	内容	写真
<p>【3館共通】 体験学習プログラム</p>	<p>「勾玉づくり」等の古代のモノ作り体験や昔の人々の暮らしと関連した「ミニ門松づくり」等の製作体験を行うもので、子どもと保護者及び一般の参加者を対象に実施した。</p> <p>・参加者数(3館) 648人</p>	
<p>レッツ！タイムワープ in 遊古館 「開館 15 周年記念 高座on講座」</p> <p>11月3日(日・祝)</p>	<p>小学4～6年生を対象とした歴史・民俗学など昔の人々の生き方を学ぶ連続講座において、日本の伝統芸能である落語についてアマチュア落語家を招き、子どもも小話を披露する場も取り入れた落語会を開催した。</p> <p>・参加者 33名</p>	

## 4 大淀川学習館

### (1)新規事業

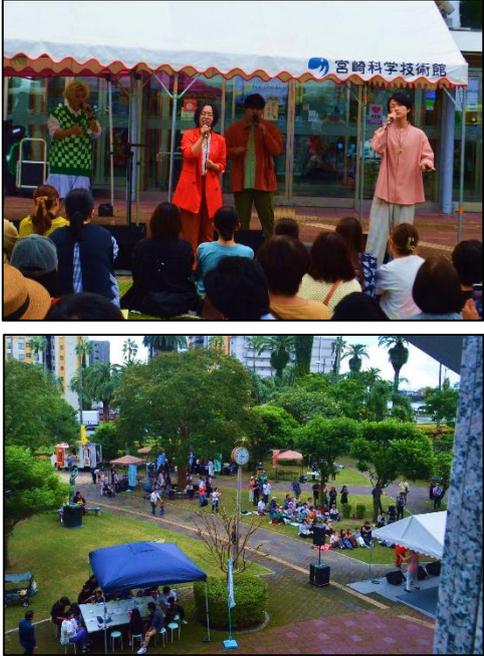
事業名 実施時期	内容	写真
<p>大淀川学習館開館30周年事業 イモムシベンチと バナー設置</p> <p>11月12日(火)より 常時展示</p>	<p>大淀川学習館開館30周年記念事業として、エントランスホールにキアゲハの幼虫をモデルにした「イモムシベンチ」と背景バナーを設置し、チョウの幼虫をはじめ、生き物に親しみをもつきっかけづくりと、背景バナーと合わせてキアゲハの成長のようすを学ぶ機会とした。</p>	
<p>大淀川学習館開館30周年特別企画展 「新開孝 昆虫写真展」</p> <p>11月16日(土)～ 12月8日(日)</p>	<p>昆虫写真家の新開孝氏が撮影した写真の中から約50点を展示した。専門家ならではの昆虫の瞬間の行動をとらえた写真から、昆虫の生態の不思議さや自然に作り出される造形美から、昆虫への興味関心を高めることをねらいとして実施した。</p> <p>・入場者数 4,228人</p>	
<p>大淀川学習館開館30周年記念講演会「虫のしわざ探検」</p> <p>11月23日(土)</p>	<p>昆虫写真家の新開孝氏講師に招き、虫の行動や虫が残した痕跡を収めた写真をもとにした講演会を実施した。日頃はなかなか目にするできない虫の瞬間の姿や限られた季節にだけ見られる姿から、身近にいる虫たちへの興味関心を高めることをねらいとして実施した。</p> <p>・参加者数 50人</p>	

(2)改革事業等

事業名 実施時期	内容	写真
ミニ講座「身近な 生き物ちよこつと 体験」  通年(不定期開催)	<p>身近にいる生き物に親しみをもち、興味関心を高めることをねらいとして、館内で展示・飼育している動植物について、簡単な説明を行うとともに、実際に生体に触れる体験を実施した。夏休みやゴールデンウィークなど、来館者が多くなる時期や、野外での生き物の観察が難しい1～3月に、実施機会を増やし、1日2回の実施を含めて、年間で37回の講座を実施した。</p> <p>・参加者数 延べ710人</p>	

## 5 宮崎市民プラザ

### (1)新規事業

事業名 実施時期	内容	写真
<p>MUSIC FOR THE SKY ～屋外コンサート～</p> <p>10月6日(日)</p>	<p>市民プラザ周辺のにぎわい創出と、当協会管理施設の魅力PRを目的に、噴水広場での屋外コンサートを開催。</p> <p>宮崎を拠点に活動・活躍する2組のアーティストによるコンサートのほか、科学技術館や生目の杜遊古館、大淀川学習館による体験ブース、ウクレレ演奏体験やキッチンカー3台出店などによる複合型イベントとした。</p> <p>・来場者数 336人</p>	
<p>市民プラザプロデュースシリーズ みやざき歌の紅白 ～昭和歌謡コンサート～</p> <p>12月15日(日)</p>	<p>これまでの実行委員会形式などで培った企画運営ノウハウやアーティストとのネットワークを活かし、市民プラザが主体となって公演をプロデュースする事業を実施。</p> <p>第1弾として、宮崎に縁のあるミュージシャン10人が紅白に分かれ、バンドの生演奏で歌唱し、世代を超えて昭和歌謡を存分に楽しめるコンサートとした。</p> <p>・来場者数 321人</p>	

(2)改革事業等

事業名 実施時期	内容	写真
<p>みやざき ART リーチ (アウトリーチ事業)</p> <p>①5月31日(金) ②7月4日(木) ③9月13日(金) ④11月7日(木) ⑤11月15日(金)</p>	<p>これまでの小学校を対象としたアウトリーチから、福祉や医療などの分野にも対象を広げて取り組んだ。</p> <p>①漫才ワークショップ ・小学生児童 79人</p> <p>②邦楽鑑賞 ・高齢者施設利用者 51人</p> <p>③軽音楽鑑賞 ・医療施設通所者 38人</p> <p>④演劇ワークショップ ・小学生児童 45人</p> <p>⑤音楽プログラム ・中学生生徒 317人</p>	 
<p>利用者サービス向上 タブレット端末の導入</p> <p>通年</p>	<p>様々な支援アプリをダウンロードした iPad(タブレット端末)を2階の受付窓口にて新規導入。</p> <p>施設の使用中により下見ができないときには施設内3Dパノラマ画像を表示し、聴覚・視覚障がい者との対応には円滑なコミュニケーションを支援する筆談・読み上げアプリなど、多様な利用者への対応が可能となった。</p>	 

<p>防災対策 常備灯の設置</p> <p>通年</p>	<p>夜間の停電時に安心して対応できるように、常備灯を設置した。</p> <p>さらに、今後想定されている大規模地震などにおける停電の際に利用者が安全に避難できるよう、台座から引き抜くとライトが点灯する常備灯(懐中電灯)を、4階の貸館施設すべてと1階・2階フロアに設置して防災対策を行った。</p>	
----------------------------------	---	--